



数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム
2021年度関東・首都圏ブロックワークショップ 第4回ワークショップ

パネルディスカッション
「企業が大学教育に求めるデータサイエンス」

実社会応用に必要な DS スキルと 大学教育への一提案

株式会社サイバーエージェント
技術本部 Media Data Tech Studio (MDTS)

角田 孝昭

プロフィール

- 角田 孝昭（つのだ たかあき）

- 株式会社サイバーエージェント
技術本部 > Media Data Tech Studio
- メディアサービスの不正利用対策・健全化を
目的としたデータ分析業務などに従事
- 最近はマッチングアプリ
「タップル」を担当



- 昨年度まで非常勤講師を担当

- 2019年 人文学類（1班）
- 2020年 人文学類（2班）

メディアサービスに DS を活かす

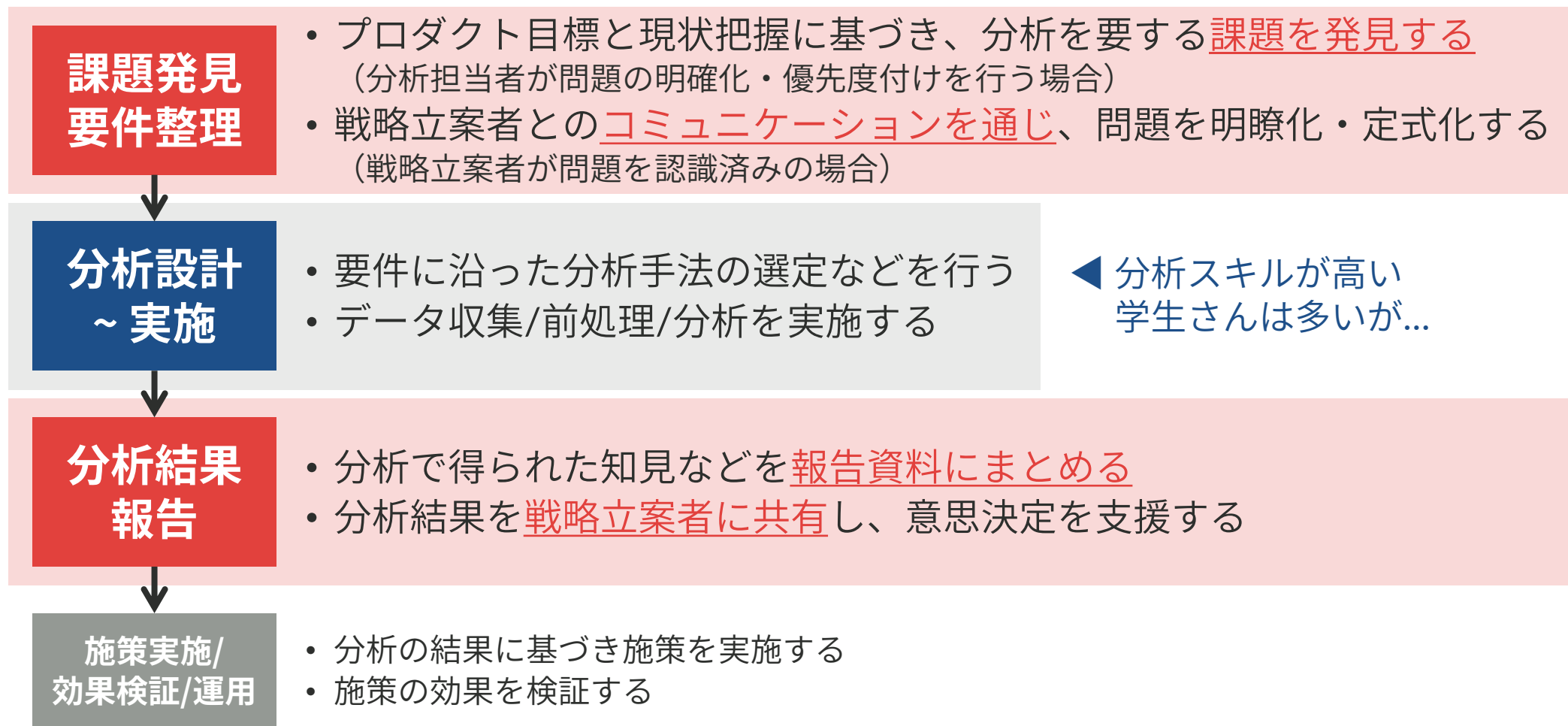
● 全サービス共通

- KPI の設計 [[↗既発表: マッチングサービスのKPIの話](#)]、施策効果の検証（A/B テストなど）、継続/課金予測、閲覧者属性推定（→ 広告配信最適化）、アンケート分析、etc.

● タップル（マッチングサービス）

- マッチ・コミュニケーションを促進する特徴の分析 → レコメンズの改善
- 不正利用者・コンテンツの特徴分析 → サービス健全化
 - 例: 18歳未満の利用者を検出する [[↗プレスリリース](#)]
 - 例: 不適切画像・盗用画像を検出する
[[↗既発表: マッチングサービスの画像審査における機械学習の応用](#)]

実社会応用につながる DS 人材とは？



データサイエンスを実社会に活かすには
これらを実行するための能力も重要!!

大学教育でできる (かもしれない) ことの一提案

- 課題発見力を上げるために...
 - そもそも「DS がどのような場面で活きるか？」の知識が必要
 - 実務経験教員による DS プロダクト応用事例を共有・DS 共通授業教材へ盛り込み
 - 他、DS 実務に触れられそうな機会の拡充: インターン・共同研究・特別講義など
- 分析を可能にする/活かすコミュニケーションを取れるために...
 - DS 演習にチームでの議論パートを盛り込む
 - (要件整理コミュニケーションも体験できると良いが、難しいかも...?)
 - 分析で得られた知見を他人に説明する機会が体験できると良い
 - テクニカルライティングの重要視
 - 敢えてテンプレートを与えてレポートを課しても良いかも